



## 校長室より



令和6年12月24日

No.27

**自分らしく生きる 豊かに生きる**

今日24日（金）、2学期の終業式を迎えました。今学期は、猛暑日が長く続き、秋を十分感じることなく冬を迎えた気がします。10月、11月は行事が目白押しで、二学部小6年の大阪修学旅行から始まり、二学部中3年の京都修学旅行、一学部高3年の白浜修学旅行、最後に二学部高2年の東京修学旅行と続きました。11月には最大の行事である文化祭が、台風接近の中、家族や卒業生にも一日開催で楽しんでもらうことができました。近隣施設と合同で行った地震津波避難訓練もありました。アマービレフィルハーモニー管弦楽団が体育館で開催してくれたオーケストラコンサートも貴重な体験となる行事でした。また、「美浜町で育つみはまの子」というテーマのもと、学校運営協議会の支援を受けて実施した松林の学習から松林の清掃活動、美浜町の魅力ある人をゲストにお呼びしての学習、JAに協力いただいた松キュウリの栽培、公民館講座としての缶バッチワークショップなど様々な体験活動も行われました。また、職場体験、職場見学、現場実習と進路関係の取組などもありました。本校の特色でもあるロボット関係の大会参加においても存在感を示すことができています。日頃の学習に加えて、主体性のあるクラブ活動、生徒会活動など、特別活動を通して子どもたちは成長していると思います。これも、日頃からご支援ご協力いただいている保護者の皆様や地域の皆様のおかげと感謝しております。ありがとうございます。

「自分らしく生きる 豊かに生きる」というめざす子ども像を共有し、子どもたちに必要な力を学校活動の中で少しずつ育てていくことができてきています。さらに、今年度、全教員で協議し、めざす学校像を作成しました。「一人一人が大切にされ 安心して過ごせる学校」です。来年は全面的に掲げ、みんなで意識していけるものになりたいと考えています。

終業式に、「三方よし」という話の中で、自分のことをよく考えることはもちろん必要ですが、そこで終わらず、仲の良い人や家族のことにも考えること、さらには学校全体や周囲の人のことも考えていってほしいと伝えました。日ごろお世話になっている美浜町に恩返しをしたいという子どもたちの気持ちから、11月に実現した松林清掃の取組は、まさに三方よしの取組であったと、子どもたちを称えたいと思います。

来年は、日本の暦、六十干支（ろくじっかんし）でいうと「乙巳（きのとみ）」の年にあたります。努力を重ね、物事を安定させていく年になると言われています。みはま支援学校にとっても安定した年にしたいですね。

今年の冬は、寒くなると言われていますが、インフルエンザが流行していますので、体調には十分に気をつけてください。それではみなさん良いお年をお過ごしください。

